

# 水まわりを汚れにくくする親水性コーティング

親水性とは物体の表面に水が接触したとき水滴にならずに均一に広がる特性のことをいいます。未処理面では水滴が残ったり流れたりするのにに対しアクセラガードをコーティングした面では均一に広がるため水滴が蒸発するときに残す鱗状痕もつきにくくなります。アクセラガードを4, 5回スプレーし軽くのぼして広げ2時間自然乾燥すれば親水性の保護膜ができあがります。

[名称]: アクセラガード [液性]: 中性 [外観]: 透明液体

[成分]: シラン系シリコン, アルコール

[標準的な塗布量]: 1㎡/10~20g (吸水しない素材のとき)

[取扱い]: 火気厳禁 (危険物第4類, 第1石油類, 危険等級2)

[特長]:

1. 水まわりの汚れやすい対象物を高親水性(水滴になりにくくなる)にすることで汚れにくくする。
2. 塗布するだけで2分の1μm (マイクロメートル) 以下の硬質透明皮膜を形成する。
3. 被膜が薄く透明なので塗布後の違和感が少ない。
4. スプレーして塗りひろげて自然乾燥するだけの簡単施工なので定期的に使用できる。
6. 完全硬化後は9Hの硬質皮膜を形成する。

[用途]: 衛生陶器、石材、タイル、鏡、ホーロー、ガラス、プラスチック、塗装面など水まわり或いは濡れる場所の平滑面に適する。

[塗布するときの注意点]:

- 原液を使用すること。●塗布面に水分や水滴が存在しないこと。●火気付近での使用厳禁。
- 乾燥するまでに最低数時間を要することを考慮に入れて作業をすること。

[塗布手順について]:

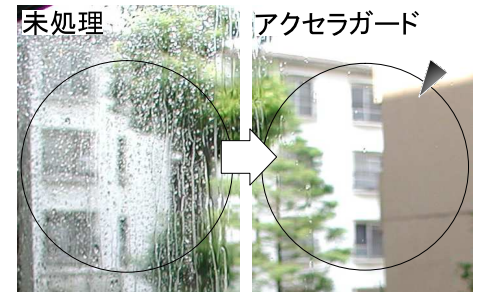
1. 対象物の汚れは予め除去しておくこと。
2. 対象物の水滴は拭き取り完全乾燥しておくこと。
3. 本剤を適量スプレーする。
4. 柔らかいペーパーナプキンか不織布で均一にかるくのぼす。
5. 約5分前後で徐々に乾燥と硬化がはじまる。
6. 約2時間で乾燥する。完全硬化までは約24時間程度放置する。

[一般的な注意点]:

- 火気の付近で使用または保管しないこと。●使用済みの本剤が接触したペーパー類は火気の付近に捨てないこと。
- 作業時は手袋を着用すること。●本剤は希釈することができない。●本剤は用途以外に使用しないこと。
- 形成した皮膜には数時間は水分に接触させないこと。●金属、FRP (不飽和ポリエステル樹脂) には適さない。
- 透明ガラスに塗布したとき虹色の干渉色を生じることがある。●使用済みの本剤は元の容器に戻さないこと。
- 本剤が皮膚に接触したときは石鹸で十分に洗い流すこと。●目に入らないよう注意する。

[保管]: 冷暗所に容器を密閉して保管する。

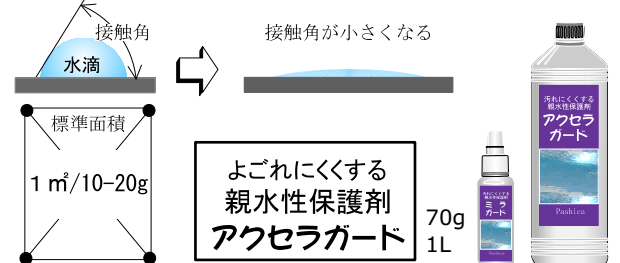
[荷姿]: 70g×12本、1L×6本



[スプレーして]→[伸ばす]→[2時間後OK]



水滴の接触角が通常より小さくなる  
アクセラガードの比較イメージ図



- \*アクセラガードは常温で無色透明な超薄膜を形成します。\*24時間後4H、48時間後9Hの硬度になります。
- \*本剤を均一に塗布するためにガラス・鏡は事前に弊社GP-2080でよく磨いてから塗布作業をおこなって下さい。
- \*塗布方法はスプレーして均一に塗り広げるかキッチンペーパー、ハケ、ローラーに適量つけて塗布して下さい。
- \*塗布後は自然乾燥させて下さい。\*30分で指触乾燥。約2時間自然乾燥すると完了です。
- \*ガラスや黒色対象物は膜厚が不均一になると虹色の干渉色が生じることがあります。
- \*本剤は表面処理の抵抗値を著しく低下させ帯電防止効果(15.5mv/塗布9.4mv)を発揮します。\*火気の近くでは使用しないで下さい。
- \*標準塗布量は1㎡/20g。\*本剤スプレーの噴霧量を小さく絞り5回スプレーしたときに約4g前後になります。確定値ではありません。
- \*親水性(塗布時15°)で汚染除去性があるので水垢が付きにくくなります。\*汚れが付着しなくなる訳ではありません。数週間に1度清掃をお勧めします。

火気厳禁  
第四類 アルコール類  
危険等級 2

お問い合わせは



**PASHICA** パシカ有限公司  
TEL(03)5761-8571 FAX(03)5761-8572  
〒201-0012 東京都狛江市市中和泉5-6-20  
URL: <http://www.pashica.jp/>  
mail: [hello@pashica.jp](mailto:hello@pashica.jp)